明治安田生命社会貢献プログラム　　　　　　　　　　　　　２００６年７月２１日

－障害のある人たちとのコラボレーションで創る新しい舞台芸術－

２００６年度「エイブルアート・オンステージ」支援先決定

明治安田生命保険相互会社（執行役社長　松尾 憲治）は、２００４年よりスタートした社会貢献事業「エイブルアート・オンステージ」のプログラム※の一環である「活動支援プログラム」の２００６年度支援先を決定いたしました。

※「エイブルアート・オンステージ」のプログラムの詳細については、別紙１をご参照ください。

１．全国３９のグループ・個人のなかから６つの支援先を決定

当事業はＮＰＯ「エイブル・アート・ジャパン」（会長　嶋本 昭三）とともに、障害のある人たちに演劇、ダンス、音楽などの舞台芸術の分野で自らを表現する機会を提供し、プロの舞台人やアーティストとのコラボレーションを通して、これまでに見たことのない表現や作品づくりに挑戦し、新しい舞台表現の可能性を発見しようとするものです。

今般３年目にあたる２００６年度の支援先を公募しておりましたが、ご応募いただいた全国３９のグループ・個人のなかから、演劇・音楽等の専門家を含む実行委員会で選考（書類および面接）し、６つのグループ・個人を支援先として決定いたしました。

今回決定した２００６年度の支援先は次のとおりです。　（敬称略）

グループ・個人	代表者	主な活動地域	表現ジャンル
あなざーわーくす	わたなべ　なおこ	東京都	観客参加型演劇（ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ演劇）
ハート・アート･おかやま	上田　久利	岡山市	アートプロジェクト
劇団こふく劇場	永山　智行	宮崎市	演劇
Dance ＆ People	五島　智子	大阪市、尼崎市、京都市	ダンスパフォーマンス
めくるめく紙芝居実行委員会	小暮　宣雄	京都市	紙芝居をベースとしたパフォーマンス
こわれ者の祭典	日野　光太	新潟市	お笑いをベースとしたパフォーマンス

２．全国各地で行なわれる各活動を運営面・資金面にて支援

今回支援する６つのグループ・個人は、２００６年７月から２００７年２月にかけて各地で組織を立ち上げ、参加者の募集、ワークショップやレッスンを行ない、２００７年３月から４月にそれぞれの地元で「舞台公演（作品発表）」を開催いたします。当事業では各グループ・個人の活動を運営面・資金面から支援してまいります。

３．コラボ・シアター・フェスティバルの開催（２００６年１０月開催予定）

１年間の活動の成果として支援先の作品の上演、シンポジウムなどを行なうフェスティバルを東京にて開催し、新しい舞台芸術を社会に発信する場といたします。

※今回参加するグループは、昨年２００５年度の支援先である８グループで、２００６年３～４月にかけて地元で「舞台公演（作品発表）」を行ないました（別紙２ご参照）。

別紙１

「エイブルアート・オンステージ」は次の３つのプログラムの総称です

活動支援プログラム

・障害のある人が参加するさまざまな舞台芸術の取り組みに対して、上限１５０万円の支援金を提供するプログラムです。
・２００４年から５年間の計画で、毎年６～８グループを支援しています。
・支援対象者は各地でグループを立ち上げ、参加者募集、ワークショップやレッスンを実施、地元での公演を行ないます。
・活動終了後はすべての支援先が集まる公開プレゼンテーションで、活動のプロセスや作品の映像を発表します。

コラボ・シアター・フェスティバル

・エイブルアート・オンステージに参加したグループの成果を多くの人に伝え、次に続くグループへの課題を提示する場です。
・エイブルアート・オンステージ実行委員のアドバイス等をふまえて、地元公演で発表した作品のうちいくつかを、さらに発展させて上演したり、シンポジウムや展示などさまざまな方法で、各参加団体の成果を伝えます。
・ゲストや観客、新たに加わるスタッフとの意見交換などを通して、新しい舞台の在り方、創り方を共に考える場にもなります。

飛び石プロジェクト

・英国から２人の演出家を招き、さまざまな人たちとワークショップを通じて交流し、作品づくりを行なうコラボレーションプロジェクトです。
・２００６年２月から約２年間かけて、２人の演出家が交代に８回の来日を重ね、飛び石を置くように東京とそれ以外の地域でワークショップを繰り返します。
・さまざまな障害のある人や俳優などアーティストの出会いや発見から、障害の有無や種別、言葉や文化の違いも越えて、演劇の新たな可能性を探り作品化に挑戦します
・２００７年１０月にはこのプロジェクトを通して作り上げた作品を発表します。

実行委員：敬称略

永井	多恵子	（財団法人せたがや文化財団理事）
木佐貫	邦子	（舞踏家、桜美林大学助教授）
平田	オリザ	（劇作家、演出家）
野村	誠	（作曲家）
吉野	さつき	（ワークショップ・コーディネーター、アートマネージャー）
殿岡	裕章	（明治安田生命保険相互会社常務執行役）
播磨	靖夫	（エイブル・アート・ジャパン常務理事）

別紙２

<u>２００５年度支援先グループの「舞台公演（作品発表）」</u>

ほうき星プロジェクト実行委員会「こまいぬ に ほうきぼし」
ｒｅｍｏ（レモ）大阪市　２００６年4月１日、２日

湖西市手をつなぐ親の会「大地を踏みならす奇跡のフラメンコ・コラボ」
湖西市市民会館大ホール（静岡県）　２００６年3月２６日